

特定非営利活動法人 京都海外協力協会

KOCA NEWS

Vol.11 2025年2月号



Wat That Luang Neua, photographed by Natsuko Endo (2023-3/ Lao PDR / handicraft)

目次

02	目次 / JICA海外協力隊派遣実績
03	2024年度2次隊 表敬訪問
04-06	2024年度2次隊のみなさん、いってらっしゃい！
07-08	第28回地球っこ講座
09	JICA海外協力隊員 現地レポート「セトゥーニャらいふ 第3話」
10	JICA海外協力隊員 現地レポート「ドミニカ共和国の物流事情」
11-12	JICA海外協力隊員 現地レポート「Olá(オラ)! Tudo(トウド) Bem(ベン)?」
13	JICA海外協力隊員 現地レポート「栄養士隊員としての技量が試される時が来た?!」
14	JICA海外協力隊員 現地レポート「Vol.3: 異文化を学び、自分を知る」
15	連載「読書を通して、ヒーローになれる」
16	KOCA会員登録のご案内

JICA海外協力隊派遣実績 2024年9月30日 現在

青年海外協力隊／海外協力隊

現在派遣者数 69か国 1,454名
総累積人数 93か国 48,083名

京都府

現在派遣者数 34か国 43名
総累積人数 82か国 1,045名

シニア海外協力隊

現在派遣者数 35か国 94名
総累積人数 79か国 6,712名

京都府

現在派遣者数 0か国 0名
総累積人数 51か国 157名

日系社会青年海外協力隊／日系社会海外協力隊

現在派遣者数 5か国 78名
総累積人数 9か国 1,645名

京都府

現在派遣者数 3か国 4名
総累積人数 7か国 43名

日系社会シニア海外協力隊

現在派遣者数 5か国 3名
総累積人数 10か国 555名

京都府

現在派遣者数 0か国 0名
総累積人数 2か国 5名

2024年度2次隊 表敬訪問



<表敬訪問スケジュール>

- 11月6日（水）京都府庁 13名
- 11月11日（月）宮津市役所 1名
- 11月20日（水）京都市役所 8名、長岡市役所 1名
- 11月21日（木）亀岡市役所1名、南丹市役所 1名
- 11月22日（金）福知山市役所 1名

13名の派遣隊員が一同に揃う京都府庁表敬訪問に合わせて、壮行会を開きました。京極ダイニングで、協力隊経験者6名と合わせて19名が集い、自己紹介や、駒ヶ根・二本松両訓練所での日々のできごと、また、その違い、それぞれの特技などを伝えました。11月26日から1月15日にかけて、任地に向かいます。表敬訪問に訪れた隊員は13名ですが、京都に実家があるなど駒ヶ根で「京都ゆかりの隊員」として出会った人が1名いますので、14名のメッセージを届けます。

2024年度 2次隊のみなさん、いってらっしゃい！

氏名：竹下 恋
派遣国：モンゴル
職種：ラグビー



■応募したきっかけ

中学の担任が協力隊経験者で興味を持ち始め、大学時にラオスへ行きははっきりと国際協力がしたいと思うようになりました。教員生活でラグビー部を担当し、指導に自信もついてきた頃応募しました。

■訓練所での思い出

はじめてのモンゴル語で、毎日半泣きになりながら勉強し続けたこと。共に暮らすなかで仲間もたくさんでき、良い刺激になりました。体力委員長として毎朝のあさんぼ(朝散歩)とラジオ体操をやりきったことも良い思い出です。

■趣味と特技：ラグビー観戦、サウナ、ドライブ

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！
経験を活かしてまずは、ラグビー頑張ります！そして夢である協力隊、自分に出きることを全力でやります！大変遅くなりました、ご確認よろしくお願いたします。

氏名：武田 絵奈
派遣国：キリバス
職種：看護師



■応募したきっかけ

看護学生だった頃、国際看護学の授業中に初めてJICA海外協力隊について知りました。世界各国で活躍している日本人看護師がいることを知り、思わずその格好良い姿に心震わせました。

■訓練所での思い出

同じ志を持っている、ということだけが共通点とあっていいほど様々な背景を持った仲間たちと過ごした日々は、私の向上心を高めてくれた貴重な経験となりました。

■趣味と特技

海外、国内問わず旅行が好きです。派遣前最後の旅行は、出雲大社で運気を高めてきました。

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！
近年人間関係の希薄化が問題視されている日本では味わえないような、キリバスの人々の温かさに触れながら、たくさんのお会いを楽しみたいと思います。

氏名：寺川 千尋
派遣国：モンゴル
職種：幼児教育



■応募したきっかけ

海外旅行をきっかけに海外に興味を持って持ち、働いてみたいと思ったため

■訓練所での思い出

語学以外にも、とても充実した時間を過ごせました。任国に行くのは不安もありますが、励まし合える仲間がたくさん出来たことが思い出です。中でも安達太良山に登れた事が1番です。

■趣味と特技

雑貨屋巡り、食べること、温泉、旅行

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

モンゴルの幼稚園に行くのが今からとても楽しみです。モンゴル語を通して、任国の方々とたくさんコミュニケーションが取れたらと思います。

氏名：山本 涼仁
派遣国：エジプト
職種：体育



■応募したきっかけ

大学の先生が元隊員であり、自分も新しい環境で自分の力を発揮したいと思った事がきっかけです。しかし海外経験の少なさはかなり不安はありました。

■訓練所での思い出

たくさんの人と関わり、学び合える環境に2ヶ月間も入れたことが本当に貴重でした。中でもスポーツ大会や音楽祭はとても思い出に残っています。

■趣味と特技

サウナ、キャンプ、スポーツ、音楽鑑賞

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

ワクワクと不安の気持ちが入り混じっていますがどんなことができるのか楽しみです。

氏名：逢坂 隼平
派遣国：エジプト
職種：体育



■応募したきっかけ

中学の時の恩師がされていたのがきっかけで、海外に出て日本ではできないような経験をしたいと思い応募しました！

■訓練所での思い出

たくさんの友達に恵まれ土日でも色々な所に外出できて楽しかったです。あとは体育隊員全員で運動会を開催したことです。

■趣味と特技

バイク、筋トレ、美味しいもの食べること

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

緊張と不安がすごいです、何とかなるだろう精神で頑張りたいです！

氏名：祖父江 なつみ
派遣国：ベナン
職種：コミュニティ開発
■応募したきっかけ



高校生の時に姉がアフリカのウガンダに長期滞在し、ウガンダ人の友達ができることがきっかけで、アフリカに興味を持ち始めました。その後JICAタンザニア事務所でのインターンに参加し、国際協力の最前線で活躍する協力隊の姿を見て、私もそうなりたいと思うようになりました。

■訓練所での思い出

フランス語クラスメンバーと毎日楽しくフランス語を学んだこと。同じ班のメンバーと木曾駒ヶ岳を登ったこと。飲み会帰り、23時の門限に間に合うよう夜道をダッシュしたこと。

■趣味と特技

国内外問わず旅行が好きです！転勤族だったこともあり、46都道府県を制覇しています。残るは鹿児島のみ！

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！
念願の協力隊としての活動が始まると思うととてもワクワクします！健康第一で頑張ります！

氏名：園部 純三
派遣国：ドミニカ共和国
職種：日本語教育



■応募したきっかけ

インド日本人学校補修校に勤務していた時、アフリカから転勤してきたJICAの方にお話を伺いボランティア活動に参加したいと考えました。

■訓練所での思い出

語学勉強、人生でこんなに勉強に時間をかけたことはなかったです。周りの優しい声かけやはげましで日々頑張れました。この時の気持ちを忘れずにしたいです。色々な職種の人たちとの交流は、とても刺激になり、視野が広がりました。

■趣味と特技

バイクでツーリング、釣り、マラソン（ジョギング）

■派遣に向けての今の気持ち一言どうぞ！
日系社会の人たちとの交流を通して、日本文化や日本語を紹介し、現地の人たちにも積極的に関わっていきたいです。

氏名：西橋 宏騎
派遣国：カンボジア
職種：体育



■応募したきっかけ

大学時代に海外で運動会を開催するプロジェクトに参加をしたことがきっかけで国際協力・海外の教育に興味を持ちました。

■訓練所での思い出

授業後に、トレーニングジムで沢山筋トレをしたこと。

■趣味と特技

筋トレ、スポーツ、カメラ

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

ស្រឡាត់! (チョムリアップスオ) カンボジアの文化や人々と接し、カンボジアについて理解し教育の発展に貢献できるように頑張ります！もちろん筋トレも

氏名：谷川 開智
派遣国：ジブチ



■応募したきっかけ

中学生時に世界一周されている方の講演を聞き、海外に興味を持つ。学生時代にベトナムで活動しているNPO団体に参加した際、OVさんの方の話を聞き海外で活動したいと思いJICAに応募。

■訓練所での思い出

フランス語漬けの毎日と中でも運動したり、音楽を弾いたり、みんなでご飯に行ったりすること全てが良い思い出として残っています。

■趣味と特技 趣味は料理・お菓子作りです！コロナ禍のおうち時間で始めました。得意料理はサバの味噌煮です

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

遂に念願のアフリカへ活動も私生活も健康第一で全力で楽しみます。友達100人作ってきます！

氏名：西村 亜紀
派遣国：パナマ



■応募したきっかけ

保育園で栄養士として7年間勤務し、これまで培ってきた知識と経験を活かして、開発途上国で食に関して寄与したいという思いから応募しました。

■訓練所での思い出 年齢も出身地も職種も全く異なった同期たちと、2ヶ月半を共に生活し、学び、楽しんだことは本当に貴重な経験でした。また忙しい訓練生活の中でも、駒ヶ根の自然の美しさが心を穏やかにしてくれました。

■趣味と特技

映画鑑賞、読書、刺し子、お菓子作り

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

初めてのパナマでの生活に不安はありますが、健康で安全に、焦らずマイペースに頑張りたいと思います。

氏名：西山 佳子
派遣国：ドミニカ共和国
職種：コミュニティ開発



■応募したきっかけ

学部時代にJICA中南米部でインターンとして働かせていただいた時、尊敬する職員の方々が皆さんOVで、スペイン語でバリバリお仕事されている姿を拝見し、自分もこうなりたと思ったため。

■訓練所での思い出

語学授業終了のチャイムが鳴ると同時に修士論文を書き始める忙しい毎日を過ごしていたこと。周囲の訓練生もストイックに趣味やスポーツに打ち込まれていて刺激をもらっていました！

■趣味と特技

ワークアウト、読書、サッカー観戦、アニメ鑑賞（キングダムが好きです）

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

送り出してくださる皆様への感謝と、受け入れてくださる皆様への感謝を忘れずに現地でも頑張りたいです！

氏名：前田 浩之
派遣国：モンゴル
職種：自動車整備



■応募したきっかけ

2014年の北近畿集中豪雨によって自宅が被災したとき、災害ボランティアの方々に助けをいただき「いつか恩返しができるば」と思う気持ちが原動力です。

■訓練所での思い出

訓練生は若い方が多く年齢的にも生活班ではお父さんの立ち位置でした。週末にガソリンを補充することを楽しみに、毎日語学の課題をこなす毎日でした。

■趣味と特技

ロードバイク、ソロキャンプ、カブツーリング

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

派遣国の中で唯一寒い国へ行くことになりました。他の国では味わえない経験ができること、思いもしなかったモンゴル語に出会えたことすべて受け入れて、後悔のない2年間にしたいと思います。

氏名：西村 由美子
派遣国：インドネシア
職種：日本語教育



■応募したきっかけ

初めて青年海外協力隊への応募を考えたのは大学卒業後社会人3年目のことでした。残念ながらその頃の私には発展途上国に貢献できる技術もなく人間としても未熟だったため断念しました。それから36年、「青年」ではなくなりましたが、日本語教師をしている今なら少しでも協力できるかもしれないと思い、応募しました。

■訓練所での思い出

訓練所の眼下に広がる感動的な雲海。学生時代を思い出す語学授業の毎日。自分の子供達よりも若い訓練生達との共同生活。雑多な家事や家族の世話が必要ない、自分のためだけの73日間。

■趣味と特技

無類の映画好き。まちあるきとニッチな京都探し。サッカー観戦。猫が懐く体質。

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

とても楽しくて有意義な2年間でした！と言えるよう、老体に鞭打ちながら頑張ってきます。

氏名：長谷川 将亜紀
派遣国：パプアニューギニア
職種：コミュニティ開発



■応募したきっかけ

小学生の頃から興味があり、社会人になって将来のことを考えた際に、今やってみないときっとタイミングを逃すと思い、応募しました。

■訓練所での思い出

訓練所では、たくさんの人と関わることで、自分の視野が広がるのを実感しました。前職は田舎の小さな会社で、日々閉塞感を感じながら生活していたのですが、訓練所で新しい人達と関わり、自分らしく生きることの大切さと楽しさを知りました。

■趣味と特技

趣味は筋トレ、特技はスピアフィッシングです。

■派遣に向けての今の気持ちを一言どうぞ！

パプアニューギニアはヤバいという噂を研修所で聞き続けてきました。（笑）どんなにヤバいところなのか、今から楽しみです。生きて帰って来れるよう、頑張ります！

第28回地球っこ講座

テーマ「地震！言葉が分からない!!あなたならどうする?」



11月4日、京都府精華町役場の交流ホールで、KOCAは、せいかグローバルネットと精華町と共催で国際理解講座「地球っこ講座」（異文化災害体験シミュレーション講座）を開催しました。

言葉の分からない海外で、地震に遭ったという想定で、避難の放送があっても言葉が分からないまま逃げ惑ってけがをしたり、飲料水とトイレに使用する水の区別が分からないまま飲んで、病院で言葉が通じない診察を受けたり、救援物資を間違えて受けとったりという、ワークショップを通して、災害時の外国人の気持ちを考え、私達は何ができるか、外国人は何をしてほしいかを考えました。



参加された方々からは、

- ・言葉が分からないというのは、ものすごくストレスでした。災害時や避難生活等で、さらにストレスがかかる状態だと、パニックになってしまうだろうなと思いました。
- ・言葉が通じないのは怖いと思いました。一人でも話を聞いてくれたり、理解してくれたりする人がいると、とても安心できると思いました。
- ・言葉の大切さがしみじみと分かりました。伝えることの難しさが分かりました。
- ・英語やイラスト（ピクトグラム）等、手掛かりになる情報がなければ何もできないことが分かりました。
- ・思いやりを持って接して、コミュニケーションをとることが大切だと思いました。
- ・今まで、今回のイベントのような内容を考えたことがなかったので、よい機会だと思いました。
- ・準備万端で、よくできたシミュレーションだと思いました。
などの意見が寄せられました。

そして、せいかグローバルネットで取り組んでいる、多言語防災マップと多言語の指差し会話に役立つ100の言葉シートと使い方が紹介されました。

さらに、外国人自身からの『災害時に支援されるだけでなく、支援活動に従事する外国人の紹介』や、『日本のコミュニティに入って、日頃から日本人とのコミュニケーションをとろう』という呼びかけも紹介しました。

会場では、KOCAによる、JICA海外協力隊のパネルや資料を展示して活動の紹介をしました。



<自己紹介>

綾部市出身の井上日南子（2023年度4次隊／コミュニティ開発）です。2024年4月～南部アフリカのボツワナにて小規模ビジネス支援・収入向上の分野で活動しています。ボツワナ名は現地語で「花」を意味する「セトウーニヤ」。

平和な国・ボツワナ

ボツワナでは2024年10月に行われた総選挙で、1966年の独立以来、初めて政権交代が起こりました。独立後、一貫して政権を担ってきた政党の敗北結果に、驚くボツワナ人も少なくありませんでしたが、新しい政権と新しい大統領を迎え、変化を期待している様子が伺えます。

アフリカで大統領選挙というと、残念ながらデモや暴動が発生してしまう国もあります。そんな中、ボツワナでは大きな騒乱が起こることなく、安定した民主主義の下で選挙を終えられたことを誇りに思いました。よくボツワナ人は自国のことを「平和な国」と表現します。今回の出来事を通してそれをよく実感できました。事実、ボツワナは独立以来、内乱やクーデターがないとても平和な国なのです！



▲ 藁葺き屋根を直していたご近所さん



▲ 伝統ダンスを披露した地元のダンサー

独立記念日のお祝い

9月30日はボツワナが独立して58年目の記念日でした。当日はKgotle(コタ)と呼ばれる集会所で村の人たちとお祝いをしました。私はイベントの実行委員として、地元企業からの協賛集めや出店者の募集を担当しました。配属先の町役場や村長など、多くの人が関わるイベントで、地域住民との交流を楽しむことが出来ました。

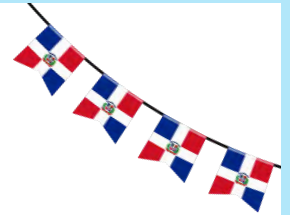


そして前日から当日にかけては約300食分の調理をお手伝いしました！このようなイベントでは、1人では運ぶのも大変な大鍋と薪を使って大量の調理をします。牛も丸ごと一頭解体して、「セスワ」にしました。セスワは骨付き牛肉をじっくり煮込み、木棒で身をほぐしたボツワナの伝統料理で、特別な日に食べられています。

肉料理を担当するのは主に男性だそうです。女性は副菜やメイズなどの主食を調理していました。記念に撮影してもらった写真はセスワの肉をほぐしているところですが、相当な力が必要でした。



地域の人たちは、日本人の私が伝統ドレスを着たり、伝統料理を作ったりすると、とても喜んでくれます。「セトウーニヤはもうボツワナ人だね！」「生涯ボツワナで暮らしなよ！」と笑顔で話しかけてくれるボツワナ人は、いつもおおらかで寛大です。素敵な人たちに囲まれていることに感謝し、1日1日を大切に過ごしたいです。

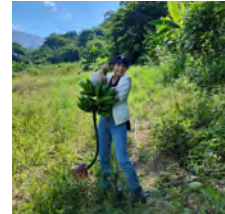


カリブ海と大西洋に挟まれた島、ドミニカ共和国はアメリカ、ヨーロッパ、南米大陸との中継点に位置し、物流ハブとしての可能性を十分に秘めています。今回はドミニカの物流事情を紹介します。

<自己紹介>

- ◇名前：重村 瑞穂（しげむら みずほ） ◇隊次：2023年度4次隊
◇派遣国：ドミニカ共和国 ◇職種：コミュニティ開発

生まれはラーメン街道のある一乗寺です。天下一品はこっさり派。日本ではメーカー勤務の会社員。現在はドミニカで農業に勤しんでいます。



ドミニカ共和国には8つの国際空港と10の海港があり、輸入の実質100%が首都サントドミンゴ広域地域の港と空港に到着します。また首都を中心に周辺都市へ幹線道路が伸びており、生産性や消費量の少ない地域へからの輸送もこの主要道路の流れに加わります。地方都市間の移動については、殆どの場合首都を経由するため、交通量が集中し時間もかかるのが現状です。



首都を中心とする主要都市への幹線道路マップ※(1)



地方都市のバスターミナル
個人の荷物が保管されている

ドミニカでは面白い工夫も見られます。例えば、地方都市にターミナルを持つバス運行会社が乗客と一緒に小口貨物を輸送しています。規模の大きな地方都市だと首都との往復便が1日に10本以上出ており、小規模の都市も経由していくため、合理的でかつ排気ガス削減にも貢献します。荷物は住んでいる地域のバスターミナルに保管され、到着の連絡が入れば受け取りに行くという仕組みです。

また、Eコマース（EC）業界最大大手のアマゾン、ドミニカに倉庫を持ちません。購入者はアメリカに拠点を持つクーリエ（小口貨物の国際配達業者）に予めアカウント登録し、マイアミにあるアマゾンの倉庫からクーリエ会社を経由して配送依頼する必要があります。国内に届いた荷物は、クーリエ会社のオフィスまで購入者が受け取りに行きます。配送料はアメリカからの国際輸送費が含まれるので高額な上に到着までに約2週間かかります。



マイアミにあるアマゾン社の
物流配送センター※(2)

コロナ以降、日本でもECを利用する機会が一段と増えた印象があります。メルカリをはじめとする物販ビジネスに誰でも気軽に参入できるようになり、物流はますます複雑化しています。ドミニカ共和国の国土は九州+高知県と表現されますが、日本では沖縄や一部の離島を除き、全国当日配送が可能なのは、実はもの凄い物流網だということに気づかされます。

さらに日本では「時間指定」「不在配達」「当日配送」など過剰なサービスを当たり前にかけています。（かくいう私もアマプラを酷使していました）一方でドライバー不足や長時間労働、またそれに伴う物流コストの上昇といった問題は深刻です。日本人も、ドミニカ人のような「着いたら取りに行けばいい」くらいの心の余裕を学ぶべきなのかもしれません。

※(1) <https://losdominicanos.org/>より参照

※(2) <https://therealdeal.com/>より参照



ブラジル便り

地球の裏側から

Olá(オラ)! Tudo(トゥド) Bem(ベン)?

(こんにちは! お元気ですか?)

【プロフィール】 氏名：森岡弘子
日系社会海外協力隊

隊次：2022年度 3次隊
職種：日本語教師
派遣国：ブラジル

みなさん、こんにちは。ブラジルはこれから、夏に入ります。真夏のクリスマスとお正月を迎えます。小学校で「太陽は東からのぼって、南の空を通り、西に沈む」(見え方です)と習いますが、こちらでは「北の空」を通ります。「北極星」は見えない代わりに、「南十字星」が、夜の羅針盤になります。季節も逆なら、南北を探す目印も違うんですね。

当たり前的事かもしれませんが、日本と「当たり前」が違うってことも新鮮な体験です。でも、なかなか慣れません。特に学校は12月から「夏休み」ですが、すぐ「冬休み」って言ってしまう。

暑いですが、鍋料理も恋しいです!



▲生徒に教えてもらって初めて見た「南十字星」

野菜・果物は フェイラ (青空市場) で買うと安く新鮮! (今回は、ふだんの食料の買い物報告です)

食料はスーパーでも売っていますが、決まった曜日に出る市場は野菜や果物が新鮮で安いです。私の住んでいる所の近くでは週3日、曜日毎に場所は違いますが、朝6時半頃から開いているので、出勤前に行くことができます。

サンパウロ市内では、毎日出る市場もあります。ブラジルでは、葉物野菜など、野菜をたくさん食べる習慣があまりなく、日本人が種を持ち込んで育て、最近は日本食ブームも相まって野菜の種類は増えてきたそうです。サンパウロ市内の市場ではあまり見なかった、大根やキャベツ、白菜、ごぼうも売っていて、さすが、日系人の多い街らしいです。(日系人好みの野菜は、少し高いですが。) 大きい市場だと服や靴なども売られています。



▲決まった曜日に出る市場は道路や公園を使い両側に店が並びます。アチバイア市では300mほどの長さの市場もあります。



バナナもいろんな種類があること、例えば焼いて食べるためのバナナがあることも初めて知りました。実になる野菜は日本で見るのと同じでも、大きい！のが普通です（右上の写真はなすとパプリカです）でもなぜかリングは小さいです。マンゴーも安いので、ブラジルで一生分食べて帰るつもりで、行った時は毎回買ってます（笑）



軽食を食べられる店もあり、大勢の人で賑わいます。前のページの写真で、NABO(ナーボ)は大根のことでR(レア)\$ (ル)5,00 (約148円)でした。

肉類は、スーパーで買います。店によってケースの大きさは違いますが、肉の部位ごとにぶら下がっていて、切り分けてもらいます。（パック売りもあり、私はパック専門です）豚や鳥の足なども売られていて、ふつうのスーパーでも種類がとにかく多いです。

市場やスーパーなどを見ると、ヨーロッパ文化の国だなあと感じます。その中に日系人の大きなエネルギーと影響力も感じます。これから、クリスマス（NATAL(ナタウ)）。店もブラジルの有名なクリスマスケーキ（PANETTONE(パネトーネ)）が山積みでした。



▲クリスマスケーキ（パネトーネ）の山 奥の箱も全部

Feliz(フェリース) Natal(ナタウ)！（メリークリスマス！）

Feliz(フェリース) Ano(アーノ) Novo(ヌーボ)（良いお年を！）



栄養士隊員としての技量が試される時がきた？！

【自己紹介】神戸市出身、京都市在住。管理栄養士として保健所、病院で勤務。その後、京都市、島根県の大学にて、管理栄養士養成に携わる。栄養士としての経験を海外で活かせるか？若き頃の夢を叶えるために、キルギスでの健康づくりに向けて活動中！

みなさまいかがお過ごしですか？ 2023年度4次隊、栄養士、キルギス派遣の今中美栄と申します。早、派遣後6カ月が経ちました。今回は、任務地での健康促進活動についてご報告したいと思います🌸！

<6カ月を迎えて思うこと>

[派遣当初] 言語に頼らず、必死に周りの行動観察をして過ごしていました。
[3カ月頃] 頼まれ事も多くなり、任地での隊員生活に安心感が生まれました。
[6カ月目] 何でもやってみた結果、栄養士のやるべき事が見えてきました。

<キルギスの医療状況>

キルギスの医療施設の殆どは老朽化し、衛生面も十分ではありません。生活習慣病の温床となる肥満率も高く4人に一人が肥満です。また、喫煙率や飲酒習慣、貧血などの健康課題も多く、また、手洗い、歯磨き、入浴、生活リズム等々、衛生教育の必要があり、栄養教育のみならず、あらゆる視点での健康活動課題が見えてきました。

<任務地：チュイ州ファミリーメディカルセンター健康促進室>

健康づくりの啓発を担う部署として、様々な健康推進活動を行っています。毎月変わりに啓発目標を掲げ、地域の家庭医療センター、学校、幼稚園、福祉施設などを訪問し、禁煙対策、妊婦指導、感染症予防、健康診断受診勧奨などを行っています。巡回指導をご紹介します。



▲任務地の同僚と🍷



▲糖尿病指導



▲健康運動



▲乳がん予防啓発



▲高血圧予防



▲幼稚園での食育講座



▲中学校での栄養教育

11月から、地域の24の中学校の生徒や保護者、教員を対象に、栄養教育の実践授業が始まりました！果たして期待に応えることができるのか！？〇〇年間培ってきた「栄養教育」の技法や工夫で、乗り切るぞ--!! 相変わらず、意気込みだけは十分にありますが、果たしてどうなるやら🌸(‘◇’)ゞがんばります！



JICA海外協力隊現地レポート Vol.3 : 異文化を学び、自分を知る

【自己紹介】

岸本光太郎（隊次：2023年度4次隊/職種：青少年活動/派遣国：マダガスカル） 京都市出身。
こんにちは！任地では「人々の生活にプラス1」を意識して、日々の活動を行っています。



赴任して半年が経ち、マダガスカルでの活動が軌道に乗ってきました。私はこの2年間の任期を通じて、特に現地の青少年に伝えたいメッセージがあります。それは、「自分たちの住む国、マダガスカルには素晴らしい魅力がある」ということです。

マダガスカルの青少年は母国語に加え、フランス語や英語を学校で学んでいます。その中で、私は日本で言う「道徳」のような時間を使い、日本文化や遊びを通じて異文化交流を行っています。青少年の間では「マンガ (Manga)」も人気があり、日本に興味を持つ子どもたちも多く、「日本に行きたい」「日本語を学びたい」と言ってくれる子どもがたくさんいます。

しかし、多くの子どもは日本と中国を混同して理解しており、よくわかっていない場合が多いです。「どうして日本に行ってみたいの？」と尋ねると、多くの青少年が「日本人はみんなお金持ちだから」と答え、「それじゃあ、お金があればこの国でもいいの？」と聞くと、「うん」と答える子もいます。確かに、そう思う気持ちも理解できますが、マダガスカルにも他国に負けない素晴らしいさがあります。人々の優しさや美味しい果物、豊かな自然などがその一例です。

日本人の私にとっては「この文化は日本よりマダガスカルの方がいいな」と思う時がたくさんあります。普段生活していると自分の暮らしが当たり前になって、日頃の暮らしが他人から見るとどのように見えるのかわかりません。私もそうです。マダガスカルに来て初めて、アジア人はみんな中国人に見えるかと教えてもらいました。だから、私も現地の青少年にマダガスカルの暮らしの素晴らしいところを日本文化を教えながら伝えていければと思います。



その名はビブリオバトルふしみ

益井博史さんによる連載企画「読書を通して、ヒーローになれる。」第9回をお届けします。
益井さんがビブリオバトルに出会ってから現在に至るまでの活動、ビブリオバトルってどんなことをするの？その魅力とは！
など、様々な視点からお伝えしていきます。



【自己紹介】

益井 博史 (Masui Hirofumi)

- 青年海外協力隊2015 (H27) 年度3次隊 / 青少年活動 / ソロモン
- 一般社団法人ビブリオバトル協会 特別協力員
- ビブリオバトル普及委員会 理事
- 大学卒業後、まちづくり会社を経て青年海外協力隊に。帰国後、ビブリオバトル考案者の研究室で論文執筆や大会運営に携わる。
- 著書『ソロモン諸島でビブリオバトル』（子どもの未来社）
- 最近の趣味：サウナめぐり、ボードゲーム

(前回までのあらすじ)

ビブリオバトル全国大会の予選会開催を志した筆者。

別の予選会会場で敗退したバトラーを呼び込むハイエナ作戦が功を奏し、なんとか出場者集めに成功したのだった。

会場には、すでにおよそ15人ほどが集まっていた。
ほんの数ヶ月前まで、ほぼ誰とも会話しない生活をしてきた僕のイベントに！
でもそんな感慨に浸っている場合ではない。

今日は全国大会の予選として、正式に二次予選（地区決戦）に進むバトラーさんを決める責任があるのだ。

ビブリオバトルの概要や大会に関する説明、公式ルール・大会規定のアナウンスなど、他の会場を回って見つけたイベントの流れを、初めて司会者としてこなす。

ただし、司会者はあくまで司会者でしかない。

ビブリオバトルが料理だとしたら、司会者はお皿だ。

メインディッシュはバトラーさんが紹介する本、そしてバトラーさん自身なのだ。

この日のために準備してくれたバトラーさんたちの姿や、話を聞き入る観戦者さんたちの様子が、そのことを僕にまざまざと伝えていた。

初めて主催した予選会は、無事に二次予選に進出するバトラーさんを選出し、幕を下ろした。

司会者としては経験不足が甚だしく、場を暖めることもろくにできていなかったけど、それでもなんとかなるのがビブリオバトルの偉いところだ。

そして、主催者という立場になると、バトラー以上に様々な人とつながりができる、という意外な収穫もあった。

つながりの一つに、京都新聞の記者さんもいた。記者さんは僕の予選会を地域版で取り上げてくれ、僕が会場利用時に必要に迫られて作った団体「ビブリオバトルふしみ」が、初めて紙面を飾ることになった。

新聞に載ると、すぐさま反響があった。

「〇〇でビブリオバトルをしてくれませんか？」という相談がいくつも寄せられたのだ。

社会とのつながりに飢えていた僕は、すべて引き受けることにした。

それらの開催の準備をしているうちに、僕が出場する全国大会の二次予選がやってきた。

そしてその頃の僕は、いわゆる「ノリにノって」いた状態だった。

二次予選も突破し、全国大会出場権を手にしたのだ。

2013年12月、僕は日本一のビブリオバトラーになるべく、東京へと向かったのだった。

(次回に続く)

今回の一冊：『利己的な遺伝子』（リチャード・ドーキンス／紀伊國屋書店）

「ノリにノって」いたとき、全国大会とは関係ないビブリオバトルにも頻繁に出場してきました。本書は、僕たちが生き延びようと必死になり、恋をし、争い、ときに自らを犠牲にしても他者を助けるのかを、遺伝子の観点から解き明かす名著。「子ども」がテーマのビブリオバトルで紹介してチャンプ本になりました。イエイ。



予選会の様子

KOCA会員登録のご案内

KOCAは、京都府にゆかりのあるJICA国際協力ボランティア事業への参加経験者と、国際協力や国際交流に興味のある府民を中心とした団体で、京都府内での異文化理解の促進、地域の国際化と国際理解のために活動をしています。

活動の財源は、主に会員の年会費で成り立っており、京都のまちが元気になるような、国際交流イベントへの参加や企画運営に関わる正会員と、KOCAの活動を資金面で支える賛助会員があります。（もちろん、賛助会員の各種イベントへの参加も大歓迎です）会員のみなさまには、KOCANewsを通じて活動の様子を届けます。ぜひ、私たちの仲間になってください。

会員登録の際、メール件名に「KOCA登録申込」、本文に①氏名、②住所、③電話番号、④正会員または賛助会員の選択、⑤年会費納入日、（協力隊経験者のみ ⑥隊次、派遣国、職種）を記して、office@koca.or.jpまで送ってください。

<年会費>

正会員：個人3,000円 団体30,000円

賛助会員：個人3,000円、任意団体5,000円、法人10,000円

1) 京都銀行への振込

銀行・支店名：京都銀行 本店営業部

口座名義：特定非営利活動法人 京都海外協力協会

普通預金 店番：101 口座番号：3990781

2) ゆうちょ銀行（郵便局）への払込

口座：記号14410 番号26623371

加入者名：特定非営利活動法人 京都海外協力協会

手数料は各自でご負担下さいますようお願いいたします。

領収書は、振込み時の控えにて代用くださいますようお願いいたします。



いつか世界を変える力になる

JICA
海外協力隊



JICA海外協力隊事業については、JICAホームページをご覧ください。

KOCAネット（メーリングリスト）は、各種行事の案内や登録者相互の情報交換・コミュニケーションを図る場として運営しています。登録ご希望の方は、office@koca.or.jpにメールを送り、お名前とメールアドレスをお伝えください。

KOCAの情報は、ホームページ、Facebook、Instagramで随時配信しています。

HP

Facebook

Instagram も見てね！



KOCAは、京都府在住のJICA国際協力ボランティア事業への参加経験者を中心とした組織です。国際協力活動で得た貴重な体験を生かして、異文化理解の促進、地域の国際化と国際理解のために様々な活動を展開しています。

編集・発行 特定非営利活動法人 京都海外協力協会（KOCA）

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
ひと・まち交流会館 京都 2階 京都市市民活動総合センター
PO.BOX NO.27